工業部会通信

（発行）
かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館１階
※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞 KANAKEI

# ＩｏＴツール展示会開催

## ４時間半で200人以上が来場

### 県央地区初「現場で使える」がテーマ

工業部会などは3月19日、「中小製造業の現場で使えるＩｏＴツール」をテーマにした展示会を相模原市立産業会館を開催した。開催から4時間半で２００人以上が来場。各出展者ともユニークな製品を並べていた。

同分野に特化した展示会は県央地域では初めてという。

主催は相模原商工会議所の工業部会のほか、ロボット革命イニシアティブ協議会などが協力。横浜や川崎、藤沢、厚木といった周辺地域の商工会議所も協力した。

「ものづくり応援ツール展示会」と銘打った同展示会は、同日の午後２時～同６時半まで開催され、計24社・団体が出展。展示会としては短い開催時間ものの、２００人以上が来場。同分野に対する関心の高さをうかがわせた。

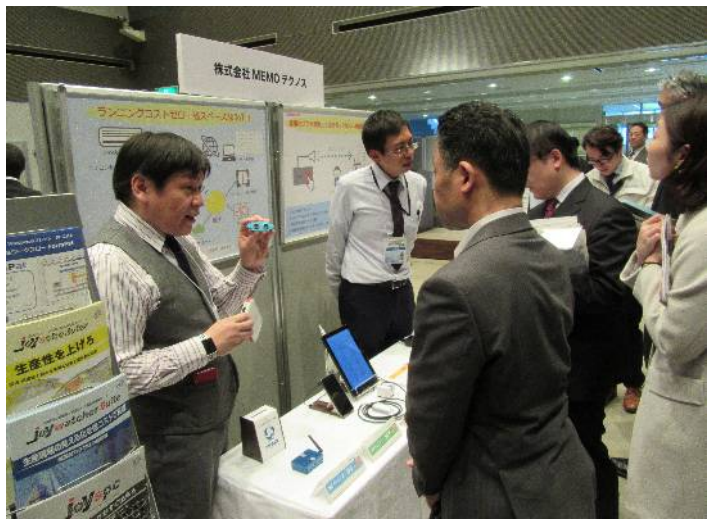
会場では「低コスト」「簡単」「使いやすい」をテーマに、現場で活用できる製品を紹介。「スマホで写真を撮るだけで在庫管理ができるツール」や「古い機械をカメラでＩｏＴ化するツール」「部品ピッキング動線最適化ツール」など、ユニークな製品が並べられていた。

一方、工業部会会員から唯一の出展となったのはＭＥＭＯテクノス。同社は、手軽に使えるＩｏＴ小型デバイス三姉妹「優子」（長女）、「愛子」（次女）、「涼子」（三女）を展示した。

「愛子」（２万８８００円～）は、温湿度センサーや人感センサー、圧力センサーなどに接続できる。そして、無料で利用できるクラウド上の表計算ソフト「Ｇｏｏｇｌｅスプレッドシート」などと連動し、各種データをリアルタイムで表示する。

「涼子」（２万６８００円～）は機器を制御するデバイス。

例えば、室内の温度を一定にするため、温湿度センサーに取り付けた「愛子」を通じて送られてくるデータを見て「涼子」がエアコンを制御する。



ＭＥＭＯテクノスも出展した

200人以上が来場した会場

## リガルジョイントが「はばたく中小」受賞

### 生産性向上で第五電子も

流体制御機器や環境機器などを製造販売するリガルジョイント（南区大野台）が、経済産業省・中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模事業者３００社」に選定された。

「はばたく中小企業・小規模事業者３００社」は、中小企業庁がＩＴサービス導入や経営資源の有効活用による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取り込みなど、さまざまな分野で活躍する企業を選定するもの。「生産性向上」「需要獲得」「担い手確保」の３部門を設定している。

今回、同社は「需要獲得部門」での受賞となった。製造販売する「冷却ユニット」が韓国の半導体メーカーに大口納入したほか、中国やベトナム、タイなどの海外市場の開拓を積極的に行っている。

また、金属加工の切削液で、廃液がゼロになる次世代型「強アルカリ性電解水」とその生成装置を開発するなどの取り組みが評価された。

一方、相模原市内では、ロボットシステムを積極的に導入している第五電子工業（緑区橋本台）も「生産性向上」の部門で受賞した。

受賞したリガルジョイントの稲場社長（右）